

平成 14 年 12 月 16 日

発信元：サイバネットシステム株式会社 広報室

〒112-0012 東京都文京区大塚 2-15-6 ニッセイ音羽ビル

TEL.03-5978-5430 FAX.03-5978-5441

E-MAIL:irquery@cybernet.co.jp

業務アプリケーションのユーザー インタフェースに係わる ビジネス プロセス自動化ソフトウェア Epiplex (エピプレックス) 国内販売開始のお知らせ

サイバネット システム株式会社 (JASDAQ市場上場、本社：東京都、資本金：9億9500万円、代表取締役社長：井上 恵久)は、2002年10月17日、米国 Epiance Ltd. (エピアンス社本社：米国 バージニア州、最高経営責任者兼社長：R.Shankar)と戦略的なパートナーシップを含む包括的な販売代理店契約を締結し、同社が開発したeラーニング 及びビジネス・プロセス管理用ソフトウェア Epiplexを2003年2月1日より販売開始することになりましたのでお知らせ致します。

Epiplex に用いられている技術は、業務ソフトへのユーザー操作を自動的に収録して、XML プロセス・スクリプトとして抽出することにより、効果的に、素早く、簡単に、以下のソリューションの提供をおこないます。

- ・ eラーニングやシミュレーション、アニメーションプログラム
- ・ システムやアプリケーションのマルチ言語対応ドキュメントや操作ガイド
- ・ マニュアル化しにくかった動きのあるアプリケーションマニュアル
- ・ トラブルサポートのための再現ファイル
- ・ 複雑な操作手順をシンプルなインタフェースで再構築
- ・ プロセスを簡素化し、フローを考慮した知識を組み込み、余分な人的操作を取り除いたシステム

米国でのエピアンス社の主要顧客は、SBCテレコミュニケーション (米国地域通信最大手)、IRS (米内国税歳入局)、エクソン・モービルや PeopleSoft 等の大手民間企業、政府機関やソフトウェア会社等で、従業員の生産性を向上させる一方、IT オペレーションや研修の費用の大幅な削減を実現しています。特にSBCテレコミュニケーションでは、Epiplex の導入により従来のコストを300分の1に削減することに成功するなど大きな成果をあげています。

サイバネット システム株式会社 井上社長は、このビジネス・パートナーシップに関して、次のように言及しています。

“当社は創立以来、一貫して科学技術計算およびエンジニアリングの分野で先端的なシステム、ソフトウェア、ソリューションサービスの提供を行っており、我が国の基幹産業とも言える製造業を中心とした「モノづくり社会」へのお手伝いをさせていただいております。従来、当社の提供しておりますサービスにおいて、お客様にとって生産性の高いサービスの提供、例えばインターネットを利用したアプリケーション・技術トレーニング、お客様の固有なアプリケーション操作によるガイダンス、あるいは操作マニュアル、複数のアプリケーション利用に際してのシンプルな操作手順等々、さまざまなサービス提供に対し迅速な対応が求められていました。

今回のエピアンス社との戦略的パートナーシップ契約を締結できたことにより、当社が抱える煩雑なマニュアル作り、効果的なトレーニングが実現できます。そして、エピアンス社の技術、製品は、企業の業務プロセスの革新に大きく貢献できる製品であり、当社の新しいビジネスとして日本国内で販売する事にいたしました。”

一方、エピアンス社の最高経営責任者である R Shankar 氏は、“サイバネット システム社とのパートナーシップに関しては以前より非常に高い関心を寄せていたが、日本での最初で最も戦略的な協業会社が誕生したことは、極めて時を得た合意であった。

エピアンス社は自らの製品とサイバネット システム社の強力な販売力及び日本語化を含む技術支援により日本のお客様へ向けて短時間でのビジネス・プロセス・マネジメントを実現すべく強力な協業体制を敷くことになった。

米国でのエンタープライズ・リソース・プランニング (ERP)、ビジネスプロセス管理(BPM) 及びその他関連ソフトウェアの幅広い導入に比べ日本での遅れが指摘されているが、数回の日本での顧客訪問を通じて多くの大手企業や協業会社間でこのフロント・エンドでの統合化やナレッジ・マネジメントへ向けての彼等のワーク・フロー・マネジメント、エンタープライズ・アプリケーション・インテグレーション(EAI)や ERP 投資に深い関心を持たれていることを知り得た。これは、非常に勇気づけられることであり、この市場は我々に取って戦略上重要であり、この市場が必要とするユニークなニーズにも対応していく予定である。” と述べています。

- **Epiplex 機能**

次の5つの機能を提供致します。

- **プロセッサ**

収録したイベントやビジネス・フローを XML スクリプトファイルとして抽出する製品の核となるテクノロジー。 プロセス・イベントを XML に変換する標準化キャプチャ機能です。

- **ドキュメント**

XML 素材を文書化する機能。

ユーザマニュアル、操作ガイド、実施マニュアル、テストガイドなどを即座に作成します。

e-ラーニング (アニメーション&シミュレーション)

XML 素材を動画化する、または、操作のシミュレーションを簡単に作成する機能。ガイド付操作でレビュー可能にし、一連の流れの確認ができるなど、e-ラーニングシステム構築を支援します。

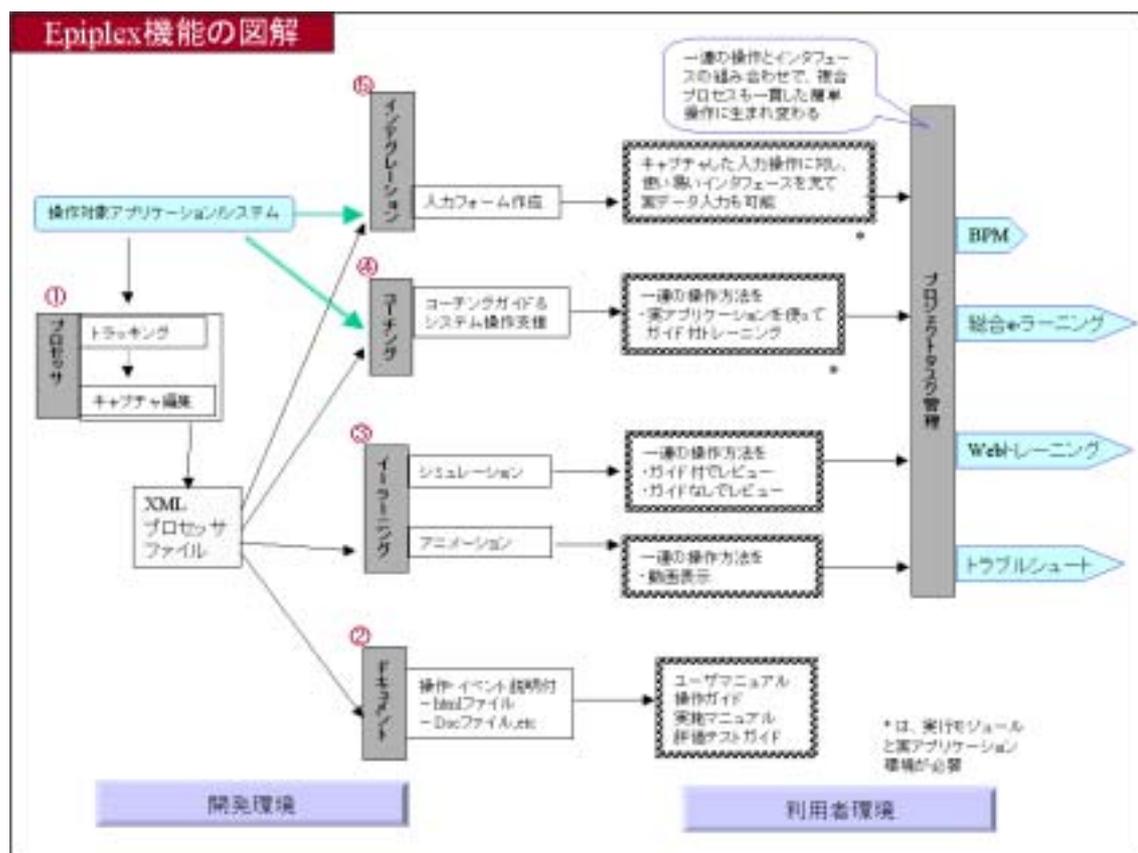
コーチング

XML 素材を使い、実際のアプリケーションを動かして、必要なときに必要なトレーニングやステップ・バイ・ステップ・ガイダンスが実現できます。

操作支援、トレーニングシステムとして利用できます。

インテグレーション (統合)

アプリケーションの振る舞いを改善し、最適化されたプロセスを作ることができます。簡単に使い易いインタフェースを作成し、アプリケーションの中にある複雑な手続きを、異なる複数のアプリケーションにうまく橋渡しをし、操作を短縮させることができる機能。実アプリケーションを動かして実現させます。



● Epiplex の利点

昨今の e-ビジネスの世界では e-ビジネスへの移行に応じるべく急速に標準化されつつあります。各企業では e-ビジネス環境へ容易に移行するため異なる業務の統合化を図らなければなりません。この統合化は、複雑で費用が掛かり投資効果が直ぐには現れません。加えて常

に変化する環境は、従業員に多くの新しい業務やビジネス プロセスに対応しなければならない困難さを強いる事になります。その結果として、従業員の生産性や士気の低下を生み、従業員コストの限りない上昇をもたらし、最後には競合会社によりビジネスを失う事になり兼ねません。

そこで Epiplex は、企業のビジネス・プロセスを容易に管理し、複数言語（日本語含む）で企業が必要とする文書、e-ラーニングやシミュレーション、簡素化されたインタフェースそして統合化されたシステムを自動的に作成します。

Epiplex により、企業は僅かな時間、しかもコストを掛けずに旧来の方法で解決方法を開発し、導入、再使用そして保守を行うことができます。

Epiplex は、企業内でのシステムとのユーザー・インタフェースに焦点を当て、プロセスと知識は表裏一体である事を認識する中でプロセスや組み込まれた関連のある知識を簡素化し、冗長性のあるユーザー・インタフェースの削除を行なうことができます。

企業は、単一化されたインタフェースで、複数業務に渡るプロセス・インタフェースの統合化を図ります。こうして企業は、新しいシステムやビジネス プロセスの導入での生産性の低下、高コストの長期化を押さえることができます。

企業は優秀な従業員が現場で何を行ない、いかに効率的に行なっているかのプロセス モデルを現場で自動的に引き出し記憶させ、それを普及させることができます。そして複雑なユーザー・インタフェースを継ぎ目無く容易にユーザーをガイドする自動化されたプロセスに新たに作り替えます。加えて企業は新しいシステムやビジネス・プロセス・アセスメント用の文書作成を自動化することにより、必要とされる現場での従業員からのヒアリングそして詳細な分析にかかる多くの時間と費用を取り除くことができます。

これらの業務ソフトに係わる業務プロセスの改善、要員の研修そしてそれら業務ソフトの保守及び配備での時間と費用を画期的なソフトウェア技術（特許申請中）で大幅に削減することができます。

● 使用事例

エクソン・モービル社

全世界で ERP パッケージとして有名な SAP の最大ユーザーの 1 つであり、複数言語や異なる文化圏での SAP の導入にあたり、ナレッジ・マネジメントや研修の必要に迫られていましたが、従来の e-ラーニングの開発では満足させることができませんでした。

Epiplex の e-ラーニングおよびナレッジ・マネジメント・モジュールのアニメーション、シミュレーション、そしてドキュメンテーション機能の組み合わせにより各国での SAP の

Web ベースのカスタマー・リレーション・マネジメント (CRM) ソリューション導入を短時間でしかも低コストで達成しました。

ジェネラル・モーターズ

競合関係上、2週間以上かかっていた自動車製品のワーク・オーダー・プロセスを4時間以内に削減する必要性に迫られていました。EPIPEx は、ユーザー・インタフェースの自動化により、この目的を達成しました。

● サービス利用方法

お客様は自社内でのクライアント/サーバー方式での利用になりますが、お客様のニーズに応じてアプリケーション・サービス・プロバイダー(ASP)サービスも別途提供を予定しております。

● 買い取り価格および利用料金

開発ライセンス及び使用ライセンス料から構成され、最低価格5百万円です。ASP サービス料金は別途設定予定。

● 販売目標

初年度の販売目標は、10社導入を見込んでおります。

● 動作環境

オーサリング

ハードウェア

CPU	: Pentium 3 0 0 MHz 以上 (700MHz 推奨)
メモリ	: 6 4 MB (128MB 推奨)
HDD	: 3 0 0 MB 以上
OS	: Microsoft Windows 2 0 0 0, Windows XP、WindowsNT (SP6)、Windows 9 8、WindowsMe

ソフトウェア

Microsoft Internet Explorer 5.0 以上

● 販売および ASP サービスの開始予定日

平成15年2月1日

エピアンス社(Epiance Ltd.)について

1984年にGuru Inc.,として設立され、その後コンサルティング会社からソフトウェア開発会社に移行するに伴い会社名をEpianceに変更しました。米国バージニア州に本社を置くエピアンス社は、フォーチュン500社へのコンサルティング業務の経験に基づきEpiplexアーキテクチャを開発しました。

Epiplex製品は、政府系機関、教育機関、金融機関、製造業、IT分野と様々な分野で利用されています。

エピアンス社は、2002年8月に米国カリフォルニア州アナハイムで開催されたオンライン・ラーニング・コンファレンスの革新的な技術分野で最優秀賞を受賞、また2000年にも最優秀製品およびデザイン賞を受賞しています。

エピアンス社に関する詳しい情報については、<http://www.epiance.com/> をご覧ください。

サイバネットシステム株式会社について

当社は、科学技術計算分野、特にCAE関連の多岐にわたる先端的なソフトウェアソリューションサービスの提供を行っております。電気機器、輸送用機器、機械、精密機器、教育・研究機関など様々な業種及び適用分野におけるソフトウェア、教育サービス、技術サポート、コンサルティング等を提供しております。構造解析、音響解析、機構解析、制御系解析、通信システム解析、信号処理、光学設計、照明解析、高周波回路解析など多様かつ世界的レベルのCAEソフトウェアを取扱い、様々な顧客ニーズに対応しております。更に科学技術計算分野に加え、ネットワーク関連についてもホスト・サーバー&PC関連ソフトウェアサ、資産・ライセンス管理、ならびにe-Business時代のコラボレーション・ニーズにお応えするマルチメディアWeb会議サービスの提供を行っており、尚一層“Digital Engineering Solution Innovator”としての地位を確固たる物にすべく最大限の努力をしています。

サイバネットシステム株式会社に関する詳しい情報については、<http://www.cybernet.co.jp/> をご覧ください。

本件についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ
サイバネットシステム株式会社

内容についての問い合わせ

ネットワークソリューション部門 営業部（担当：宮嶋）

〒112-0012 東京都文京区大塚 2-9-3 住友不動産音羽ビル

TEL.03-5978-5453 FAX.03-5978-6081

製品 URL: www.cybernet.co.jp/epiance

E-MAIL: epiinfo@cybernet.co.jp

報道の方は

広報室 / 勝又

〒112-0012 東京都文京区大塚 2-15-6 ニッセイ音羽ビル

TEL.03-5978-5430 FAX.03-5978-5441

E-MAIL:irquery@cybernet.co.jp